

4/27号

「口ナ国内死者」万人超

「第4波」歯止めかからず

国内で新型コロナウイルスに感染し、死亡した人が二十六日、累計で一万人を超え、一万二十五人となつた。流行の「第四波」は、感染力の強い変異株への置き換わりが急速に進み、歯止めがかからない。

関連③④⑨⑩面、論説⑩面
死者は第二波の影響を受けています。

止めるがかかるない。関西圏を中心に医療提供体制は逼迫した状態が続いており、死者数の増加に拍車が掛かっている。

二十三日に累計五千人を超えた。二月から三月にかけて減少傾向となつたが、四

月以降、再び増え始め、直近では一日当たり五十人を超える日が増えている。

変異株が主流となつている大阪では、四月上旬まで一日当たりの死者数は多くて五人ほどだったが、その後は一転して増加。二十

五日は二十一人に上った。

同様に感染状況が深刻な兵庫と合わせて国内で報告される死者数の三一五割を占める日が続いている。

東京は一度目の緊急事態宣言の全面解除以降、増加はみられず、四月は十人以下が続く。だが感染者に占める変異株の割合は東京で

過去の感染者を取り下げる。

二十六日に確認された新規感染者は三千三百二十人。死者は大阪十五人、兵庫四人など計三十五人が

報告された。重症者は前

も半数以上との分析もあり、警戒が必要だ。

二十一日現在の厚生労働省のデータによると、死亡率は高齢になるほど高く、

八代以上13・9%、七

代5・2%、六十年代1・5%

男女別では男性の方が

死亡率は高い傾向にあり、

八十代以上では男性は19・

0%、女性は10・9%とな

っている。政府が対策の切

り札と位置付けるワクチン接種は、高齢者向けに十二

日に始まつたばかりで、す

ぐに死亡率改善につながる

とは考えにくい。

新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾身茂会長

は二十三日の記者会見で、

は「関西や首都圏から全国に拡大することに懸念を表明。

「変異株の出現で社会は新

しいフェーズに入った」と

危機感を示した。

二十六日に確認された新

規感染者は三千三百二十

人。死者は大阪十五人、兵

庫四人など計三十五人が

報告された。重症者は前

日から三十四人増の八百

九十八人。京都が二人、

過去の感染者を取り下げる。

A/27 早福

コロナ 県内新たに9人

嶺南東支援学校の職員も

県は二十六日、福井、坂井、越前、敦賀の四市と若狭町、愛知県の男女計九人が、新たに新型コロナウイルスに感染したと発表し、新たに新型コロナウイルスに感染したと発表された。県立嶺南東特別支援学校が、新たに新型コロナウイルスに感染したと発表された。県立嶺南東特別支援学校が、新たに新型コロナウイルスに感染したと発表された。県立嶺南東特別支援学校が、新たに新型コロナウイルスに感染したと発表された。

県は二十六日、福井、坂井、越前、敦賀の四市と若狭町、愛知県の男女計九人が、新たに新型コロナウイルスに感染したと発表し、新たに新型コロナウイルスに感染したと発表された。県立嶺南東特別支援学校が、新たに新型コロナウイルスに感染したと発表された。県立嶺南東特別支援学校が、新たに新型コロナウイルスに感染したと発表された。

坂井市の十代未満の児童は同市高槻小学校の児童。二十一日に同居家族の感染が公表されていた。登校は二十一日まで、感染リスクのある期間は登校していない。休校はせず、通常通り授業を行っている。

新規系統での感染は同特別支援学校職員を含めて三十三日まで勤務したが、業務の中で児童や生徒との接觸はなく、教職員六人を検査する。教職員六人を検査する。

坂井市で、いずれも県外由来ではないため、同校関係で検査が必要な人はいないとみてある。休校はせず、通常通り授業を行っている。

他の感染者では、坂井市人で、いざれも県外由来とみられる。ほかに、愛知県の二十代女性は鯖江市の実家に十八日以降、帰省していった。福井市の二十代男性が確認され、二十七日まで臨時休校とする。県内の新規感染者の確認は三十日連

県内の新型コロナウイルス感染状況(26日)		※かつては前日からの増減。単位は人
感染者	居住地	症状・医療の状況
総 人 数	858(+9)	
うち変異株	153(0)	
直近1週間	117(-3)	
福井 市	349(+1)	
坂 井 市	100(+3)	
鯖 江 市	55(0)	
越 前 市	53(+2)	
大 野 市	23(0)	
あわら市	20(0)	
勝 山 市	3(0)	
敦 賀 市	124(+1)	
小 浜 市	31(0)	
越 前 町	15(0)	
永 平 寺 町	15(0)	
南 越 前 町	5(0)	
池 田 町	1(0)	
高 浜 町	16(0)	
若 狹 町	16(+1)	
お お い 町	9(0)	
美 浜 町	4(0)	
県 外	19(+1)	
死 亡	33(0)	
重 症	3(0)	
軽症ほか	162(-1)	
宿泊療養施設	11(-1)	
県外入院	0(0)	
退 院	649(+11)	
病床占有率	62.3%	
ICU占有率	12.5%	

相次ぐ「県外由来」感染 県、大型連休「往来慎重に」

「歌う時も必ずマスクを」

県によると、学生三人はマスクを着ずに歌う場面があった。カラオケボックスは狭い空間で人と人との距離が近く、飲食を伴う場合もあるとして、月末かの大型連休を前に「感染が広がる可能性がある。予防対策をして安全に利用してほしい」と改めて要望した。(玉田能成)

ルスに感染した県立大の学生三人が、一緒にカラオケをしていた」とを明らかにした。昨年、県内のカラオケ喫茶の利用者らの間で「感染が広がった」とも踏みえ、担当者は「歌つ時も必ずマスクをしてほしい」と呼び掛けた。

新型コロナの感染者数や病床占有率などの数値を県の基準に当てはめる」四十五の都道府県で「警報レベル」だった。感染者が日に各都道府県が公表した

県外滞在や帰省などによって新型コロナウイルスに感染するケースが、県内で相次いでいる。県が二十六日に発表した三つの新規系統もすべて県外由来とみられる。都市部だけでなく地方にも感染の波が拡大しており、大型連休を前に県は「今本当に」との状況で県外に行く必要があるのか、真剣に考えてほしい」と呼び掛けている。

東京都は二十六日、新型コロナウイルスの感染者が新たに四百二十五人報告されたと発表した。直近七日間で平均した一日当たりでは七百三十人に微増し、前週比は一・二一・五%。既に発表した感染者を含め、変異株の疑いがあったのは民間検査会社などがスクリーング検査した三百五十六人のうち百七十四人だった。

新規陽性者のうち、感染経路が不明だったのは二百五十一人。年代別では二十代が百十七人で最も多く、六十五歳以上は四十二人だった。ドイツから帰国した

東京425人感染

急増した一月は三十台だった」とからも波の大きさが分かる。

国内での確認			57万1601人(+3320)			1万0012		
北海道	2万3409(+139)	843	井	858	(+9)	33	山	3638 (+38) 38
青森	1489	(+7)	梨	1142	(+10)	19	島	5727 (+33) 109
岩手	851	(+3)	野	3741	(+6)	62	口	1722 (+6) 43
宮城	7914	(+13)	長崎	5543	(+31)	131	山	1188 (+29) 37
秋田	414	(+3)	岡	6326	(+8)	121	徳	1164 (+11) 21
山形	1460	(+19)	知	3万2145(+161)	619	香	2213 (+21) 32	
福島	3216	(+18)	愛	3550	(+32)	77	高	996 (+7) 19
茨城	7922	(+35)	重	3555	(+32)	61	福	2万2048(+154) 348
栃木	5242	(+15)	滋	1万1998(+119)	182	佐	1533 (+11) 13	
群馬	5754	(+30)	京	7万6483(+924)	1376	長	1967 (+20) 40	
埼玉	3万6989(+109)	739	大	2万9545(+310)	663	熊	3952 (+52) 77	
東京	3万2580(+90)	616	兵	5725	(+56)	大	1674 (+33) 24	
神奈川	13万5598(+425)	1876	良	2049	(+16)	宮	2141 (+5) 22	
新潟	5万2563(+160)	812	和歌山	364	(+5)	鹿	2037 (+13) 28	
富山	2192	(+15)	鳥	335	(+3)	児	沖縄 1万2177 (+44) 133	
石川	1263	(+9)	島	空港検疫など	2663	(+16)	コスタアトランチカ	149
	2382	(+15)	チャーター機	14			(長崎クルーズ船)	

三十代男性も陽性者が分か
た。感染者の累計は十三万
五千五百九十八人となつ
た。

都内は感染の再拡大が続いて変異株の割合も増している。東京など四都府県には二十五日から五月十一日までの期間で緊急事態宣言が発令されている。

ダイヤモンド・プリンセス(横浜クルーズ船)	712人 13
入院・療養(うち重症) 5万1302人 [898] 〔26日午前0時現在〕	計 57万2313人 (+3320)
退院・療養解除 50万5397人 (+3129) 〔厚生労働省による〕	死者 1万0025人 (+35)
()内は前日からの増加。■内の数字は死者	